



Kunio Tsuji

1925-99

笛吹市春日居町にゆかりのある作家 辻邦生の生誕 100 年を迎え、笛吹市教育委員会では辻邦生をより知る機会として、学習院大学史料館の協力を得て記念事業を開催いたします。市民の皆様をはじめ、多くの方のご参加をお待ちしています。

第1部は、二十代の若者が読む朗読会「声でつむぐ辻文学」を、第2部は、講師に茂手木潔子氏をお招きして、辻邦生の代表作『銀杏散りやまず』と、その創作の契機となった父 辻靖剛との出会い、辻親子との交流の思い出をお話していただきます。

笛吹市立図書館 辻邦生生誕一〇〇年記念事業

# 朗読会と講演会『銀杏散りやまず』の世界



場所：笛吹市めぐり情報ステーション  
ハイビジョンホール

日時：令和7年11月1日(土)

開場 13 時 / 開演 13 時 30 分



## 第1部 朗読会 一声でつむぐ辻文学—『銀杏散りやまず』

13 時 30 分～

朗読 大川 あんな/新矢 萌香/田口 雄海/早野 沙都  
台本・朗読指導 岡部 泰子

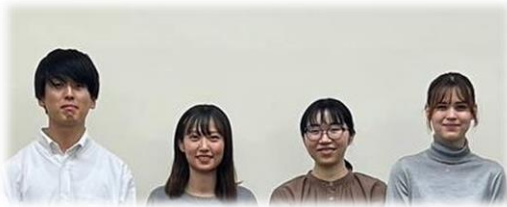
## 第2部 講演会「『銀杏散りやまず』と私」

14 時 40 分～

講師 茂手木 潔子

- ★ 入場無料・要申込(定員 150 名)
- ★ 申込は、笛吹市石和図書館のカウンターまたは電話にて受付けます。  
受付開始は 9 月 20 日(土)の午前 10 時より。定員になり次第受付終了となります。
- ★ 問合せ・申込先 笛吹市石和図書館 055-262-5959  
施設の駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用や乗り合わせでのご来場にご協力ください。

主催：笛吹市立図書館 共催：笛吹市教育委員会文化財課  
協力：学習院大学史料館（霞会館記念学習院ミュージアム）



## 第1部 朗読会 13時30分～

朗読者 大川 あんな（学習院大学3年/2004年生まれ）  
新矢 萌香（2002年生まれ）  
早野 沙都（2002年生まれ）  
田口 雄海（2002年生まれ）

台本、朗読指導 岡部 泰子

学習院大学フランス文学科で長く教鞭を執った作家・辻邦生（1925～1999）の生誕百年を記念して、辻の作品を二十代の若者が読む朗読会「声でつむぐ辻文学」を開催します。今回の作品は、薩摩琵琶奏者であった亡父・辻靖剛への追慕から一族の由縁をたどった生々流転譚『銀杏散りやまず』です。父祖の地・山梨春日居国府と作者が生まれ育った東京を舞台に織りなす歴史絵巻を現代の若者ならではの感性で表現します。



## 第2部 講演会 14時40分～

講師 茂手木 潔子（もてぎ きよこ）

笛吹市春日居町出身。甲府第一高等学校卒。東京芸術大学大学院修了。音楽学を専門とし、楽器、記述史料を通じて日本の音文化を研究。国立劇場演出室職員、上越教育大学教授、日本大学芸術学部非常勤講師などを経て、現在は上越教育大学名誉教授。国立劇場時代、辻邦生の父で薩摩琵琶奏者の辻靖剛と出会い、山梨岡神社神楽を案内したことがきっかけで、辻邦生著『銀杏散りやまず』に実名で登場。主要著書に『おもちゃが奏でる日本の音』、『浮世絵の楽器たち』、『酒を造る唄のはなし』、『北斎とモース』など。

## 辻 邦生（1925-1999）

大正14年、東京生まれ。昭和19年に旧制松本高校入学。同24年に東京大学仏学科入学、大学院を経て、昭和32～36年に渡仏留学。同31年、学習院大学非常勤講師、のち教授に。昭和36年、小説「城」で文壇デビュー。同37年、『廻廊にて』で近代文学賞を受賞。『安土往還記』で芸術選奨、『背教者ユリアヌス』で毎日文芸賞、『西行花伝』で谷崎潤一郎賞を受賞。小説、戯曲、評論と幅広く活躍。主要著書に『ある生涯の七つの場所』、『夏の砦』、『北の岬』、『天草の雅歌』、『春の戴冠』、『嵯峨野明月記』、『銀杏散りやまず』など。



### ●●● 笛吹市あぐり情報ステーションへのアクセス (笛吹市春日居町寺本 155-1)

●●● JR春日居町駅から徒歩15分。または石和温泉駅から車で7分です。



●●● 辻邦生ゆかりの品々を展示します。  
あわせてお越しください

### ●●● 生誕100年記念 展覧会 「作家 辻邦生と父祖の地」

●●● 会期：令和7年10月29日(水)  
～11月30日(日)

●●● 会場：笛吹市春日居郷土館・  
小川正子記念館

(TEL 0553-26-5100)

●●● 主催：笛吹市教育委員会文化財課  
(TEL 055-261-3342)